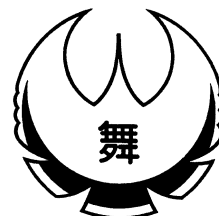




舞鶴支援学校通信
令和7年度第2号
発行
令和7年5月1日
TEL 0773-78-3133



<http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-s/cms/>

「主体的・対話的で深い学び」と「社会に開かれた教育課程」の 具現化に向けて

舞鶴支援学校では、魅力的な動機付けがされた分かりやすい授業づくりのもと、“少し背伸びしてつかみ取っていく感覚”を大切にしながら、個別の指導計画に沿って教育活動を進めています。また、ふるさと舞鶴の人・物・環境等豊かな資源に支えられて、子どもたちが生きた体験を重ね、もてる力を存分に発揮しながら暮らしていく力を育てることは学校の切なる願いです。地域の皆様にとって学校や子どもたちが身近な存在となることを通して、それぞれを認め合い、支え合いながら暮らせる共生社会の実現・成熟に貢献する、という使命感ももちながら「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◇◇ 今年度の重点 ◇◇

従来の成果と課題を踏まえながら、保護者や関係諸機関等と連携のもと、学校教育の充実・発展を目指すとともに、文部科学省「インクルーシブな学校運営モデル事業」2年目における“つながり合う”取組の研究を進める。

- (1) 12年間の系統性のある教育課程を編成し、効果的なICT活用や子どもの行動を踏まえた指導の研究、学部間の連携強化等による魅力ある授業づくりをより一層推進する。
- (2) 地域の関係機関との連携を強化し、個別のニーズを踏まえた体験的な学習や職場実習等の機会の拡大、職業教育の充実を図り、自らの生き方を考え主体的に進路を選択できるよう進める。
- (3) 児童生徒の「生きる力」や「働く意欲」を育み、個に応じた社会参加・社会貢献の機会の充実を図る。また、交流及び共同学習の新たな展開や連携校との協働等を通じて、京都府におけるインクルーシブ教育システムの在り方や共生社会の形成に資する具体的な取組を研究する。
- (4) 「トータルサポートセンター(TSC)」は、関係機関及び他の地域支援センター、校内の各部署等と連携し、地域のニーズのある子どもやその担任・保護者等に届く支援のさらなる充実を目指す。

令和7年度 PTA本部役員・学部委員の紹介

今年度PTA本部役員・PTA学部委員としてお世話になる皆様を御紹介します。

会長	泉	様 (高等部)
副会長	服部	様 (中学部)
副会長	山岸	様 (高等部)
庶務	上林	様 (高等部)
会計	中山	様 (小学部)

学部委員	坂根	様 (小学部 4組)
学部委員	笹井	様 (小学部 9組)
学部委員	山内	様 (小学部 10組)
学部委員	寺田	様 (中学部 2組)
学部委員	大平	様 (中学部 5組)
学部委員	橘	様 (中学部 5組)
学部委員	平田	様 (高等部 3組)
学部委員	灘	様 (高等部 5組)
学部委員	井上	様 (高等部 7組)

*1年間大変お世話になりますがよろしくお願いします。あわせて、会員の皆様の御協力をお願いします。

◆ 小学部

***アセスメントを的確に行い、児童の教育的ニーズに応じて、自立への基礎を培う。**

- (1) 基本的生活習慣の確立を目指し、健康な心身の育成を図る。
- (2) 授業展開や教材を工夫し、興味・関心を育て、生活に生きる基礎学力の定着を図る。
- (3) 障害の特性に応じた指導方法を確立し、コミュニケーション能力や社会性を培う。
- (4) 達成感を味わい、自信のもてる指導を通して「働く生活を見通した学習」を進める。
- (5) 地域との発展的な交流及び共同学習や体験的な取組を通して、人と豊かに関わる力を育てる。

16名の新入生と5名の転入生を迎え、81名でスタートしました。

自立の基礎を培うため、健康な心身の育成に努めるとともに、興味・関心を広げ、好きなこと、できることを増やししながら、基礎学力と主体的に活動する力の向上に努めます。

共生社会の実現に向け、地域の小学校とのつながりを深めたり、身近な地域の人々と交流したりすることで「温もり」を感じ、地域と豊かに関わる力を育てていきます。

(総括主事 石黒 健太)

◆ 中学部

***個別の指導計画を基に、生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、自立に向けてもてる力を最大限に伸ばす。**

- (1) 基本的生活習慣の確立と心身の健康の保持・増進を図る。
- (2) 体験的な学習を通し、興味や関心を広げ、生活に生きる学力の定着を図る。
- (3) 障害の特性に応じた指導方法を工夫し、コミュニケーション能力や社会性を培う。
- (4) 働く生活に見通しをもち、意欲や自信を育てる作業学習の工夫と充実を図る。
- (5) 地域の関係機関と連携し、生徒に「生きる力」を育み、意欲をもって活動させ、主体的に活動する生徒の姿や可能性を積極的に発信できるように進める。

15名の新入生と2名の転入生を迎え、40名でスタートしました。

中学部では、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育むために、体験学習や地域の方との交流を充実させていきます。人と人とのつながりの大切さや温もりを学ぶとともに、学校生活で学んだことを社会生活に生かしていけるよう、自ら考え行動できる力を育てていきます。

(総括主事 津田 邦靖)

◆ 高等部

***進路希望の実現に向け、働く意欲、態度、スキルを身に付ける。**

- (1) 心の安定と健全な身体の育成を図る。
- (2) 自立と社会参加に向け、生活に生きる学力と技能の定着を図る。
- (3) コース制(生活自立コース、職業自立コース)を生かした、適切な職業教育の推進を図る。
- (4) 教育的資源の活用及び連携を深め、特色ある教育の推進を図る。
- (5) 福祉、医療・労働等の関係機関と緊密な連携を行い、進路の開拓を進め、計画的な進路指導の下に進路希望の実現に努める。

20名の新入生を迎え、60名でスタートしました。

生活に密着した教材を各教科等の学習に取り入れたり、働く力(意欲・態度・人と接する力)を身に付けたりしながら、自立と社会参加を目指した取組を行っていきます。目標をもって、施設や職場での体験・実習を積み上げ、進路希望の実現に向けて着実に力を付けていきます。また、芸術、文化、スポーツ活動にも積極的に取り組み、生徒の可能性を拓いていきます。

(総括主事 高橋 知子)

個に応じた指導・支援を目指して

本校では、個に応じた指導・支援の充実を目指して、児童生徒に対する支援内容を保護者の皆様と検討して「個別的教育支援計画」を作成しています。また、一人一人の実態把握を丁寧に行い「個別の指導計画」を作成して、日々の学習に生かしています。

「個別的教育支援計画」とは



「個別的教育支援計画」は、学校と他機関との連携を図るための長期的な視点に立った計画です。また、障害のある子ども一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で、乳幼児期から学校卒業まで一貫して的確な支援を行うことを目的として作成していくものです。

障害のある子どもに対し、一貫して的確な支援を行うためには、教育だけでなく、福祉・医療・労働などの様々な関係機関の連携や協力が必要です。保護者と連携を図りながら関係機関と「個別的教育支援計画」を共有し、児童生徒へのよりよい支援を進めていきます。

「個別の指導計画」とは



「個別的教育支援計画」を踏まえ、個に応じた指導の最適化を行うために、一人一人の指導目標や内容を明確に示したものです。長期目標、その達成のための短期目標(前期・後期)を立て、日々の授業のねらいを明確にします。前期・後期で「ねらいが達成できたか」「指導内容・方法は適切であったか」などの振り返りを行い、継続的な支援・指導を行っています。

*御不明な点がございましたら、担任にお尋ねください。

令和6年度 高等部卒業生の進路状況

本校の進路指導は、日々の教育活動を基盤に個々の状況に応じた自立と社会参加を目指した教育活動を行っています。進路希望の実現に向け、関係機関との連携を図り、支援のネットワーク作りに努めています。

内 訳	進 路 先
福祉就労 13名	・みずなぎ鹿原学園 ・こひつじの苑舞鶴 ・就労継続支援 B 型 ワークショップ BONO ・まいづる作業所 ・みのり village ・みのり village (糸懸) ・もくよう海 ・もくもくケア ・就労継続支援 B 型 空愛 ・就労継続支援 B 型 しあわせネット・勇気 ・障害者支援施設 ききょうの杜
企業就労 7名	・独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター ・JMU ビジネスサポート株式会社 舞鶴支店 ・株式会社 ユタカファーマシー 舞鶴伊佐津店 ・株式会社 さとう バザールタウン舞鶴 ・株式会社 仲野工業 ・株式会社 FOOD&LIFE COMPSNIES (あきんどスシロー亀岡店、守口大日店)
進 学	・府立福知山高等技術専門学校 (1名) ※内訳は、延べ数です。(令和7年4月現在)

◇進路に係わる当面の行事予定◇

【進路3者面談】

対象：高等部3年生

進路希望(調査などでお聞かせいただいたこと)を踏まえ、生徒本人と担任、進路担当の三者で行います。

生徒の願いを聞き取り、進路希望の実現に向けて自覚ある学校生活が過ごせるよう指導します。

【前期進路相談会】

対象：高等部3年生の生徒
及び保護者

生徒本人、保護者の方の進路希望や思いを伺い、進路希望の実現に向けてそれぞれの関係期間からアドバイスを受け、夏の実習先を検討します。

「自立活動」の紹介

舞鶴支援学校では、子どもたち一人一人の実態に応じて、「自立活動」の指導を行っています。

「自立活動」とは、社会の中で人と関わりながら自分らしく生きるために、学習や生活上の困難を改善・克服するために必要なことを身に付け、心や体の成長を目指すことを目標にした教育活動です。

「自立活動」の指導内容は、【健康の保持】【心理的な安定】【人間関係の形成】【環境の把握】【身体の動き】【コミュニケーション】の6つの区分に分類され、27の項目が示されています。これらの中から選択して子どもたち一人一人の実態に応じた目標を設定し、得意なことを生かして力をさらに伸ばしたり、自らの課題に向き合う意欲を高めたりできるように、学習形態や内容を工夫しながら取り組んでいます。また、自己選択や自己決定する機会を設け、自立と社会参加につなげられるような内容を考えて指導を行っています。

担任や様々な機関との
連携を大切に、子ども
たちを全力でサポート
します！

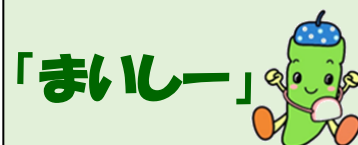


鈴木香穂 長澤菜由子 川村 葵 谷上宏樹 春田大志

「可能性は無限大！」

開校 20 周年記念の横断幕を
職員玄関に展示しました！

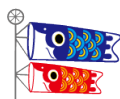
この横断幕(150×42 cm)は、令和6年度の高等部作業学習工芸班が「柿渋染」で制作したものです。生徒たちが全校から題字を募集し、120の候補の中から5つに絞り、シール投票で「可能性は無限大」に決定しました。習字で書く→型を掘る→糊を置く→染めるなどの工程を経て完成しました。作業中は終始「この先何十年も学校に残るもの」という意識で、丁寧に作業に向き合い、生徒同士で様々なアイデアを出し合うなど、まさに生徒たちの力や可能性は無限大でした。なお、横断幕については府立特色化応援ファンディング事業でいただいた貴重な御寄附を活用させていただきました。誠にありがとうございました。



昨年度、開校 20 周年記念の取組として、スクールキャラクターが誕生しました。名前は「まいしー」です。今後、地域の方々に学校の取組をPRするなど、様々な場面で活躍する予定です。

5月行事予定

- 7日(水) 一斉家庭訪問(～8日)
※両日とも短縮校時(11:40 下校)
- 8日(木) PTA 本部役員会・役員会
- 16日(金) こころの相談
- 18日(日) 参観日 小中)AM 高)PM 月曜校時
中)駅伝大会
高)福祉サービス説明会(保護者)
- 19日(月) 振替休業日
- 20日(火) 高)前期進路相談(～5/30)
- 21日(水) スクールカウンセラー相談日
- 27日(火) 高I)胸部レントゲン検査 AM
- 29日(木) 小)修学旅行(～30日)



学校ホームページを御覧ください !!



学校ホームページ QR コード



いつも学校ホームページを御覧いただき、ありがとうございます。

今年度も、地域とつながり、地域に貢献する学校として、本校教育の特色や児童生徒の活動の様子(行事を中心に)などを「トピックス」として、タイムリーに情報発信しますのでどうぞ御覧ください。